

令和元年 12月31日(火)

おおはらえ かがりびたきあげ
大祓・越年祭、篝火焚上神事

厄年会と神社関係者により、大祓・厄年振舞神事が行われました。

大祓は半年間の災い・けがれを払い清めるために行われます。(夏に行われるのは「夏越の大祓」)

大祓・厄年振舞神事



降神の義 (21:42) 明かりを消して行われます



神職と共に全員で「大祓詞」を唱える
おおはらえのことば



ひとかたしる
「人形代」の説明



人形代を竹筒に回収



厄年振舞神事 献饌・宮司一拝の後 祝詞奏上



宮司玉串奉奠・巫女・神社・神社顧問とつづき
厄年会代表玉串奉奠



徹饌・宮司一拝の後 宮司挨拶



お守りを配布

越年祭 一部の神社関係者のみで行われます



開始太鼓 (22:20)



修祓



宮司一拝・献饌の後 祝詞奏上



宮司玉串奉奠 神社代表・神社顧問とつづく



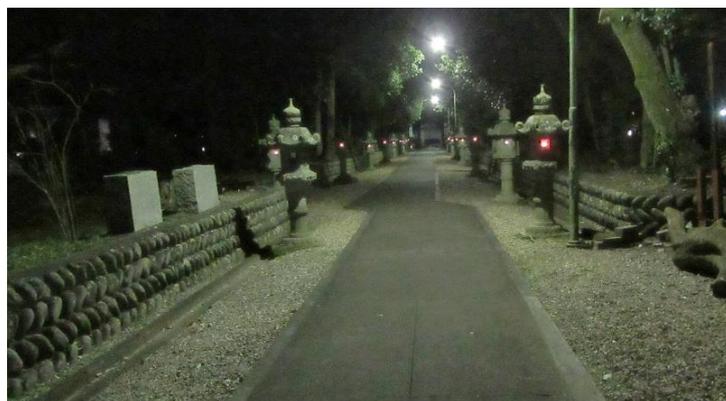
徹饌・宮司一拝の後 宮司挨拶



終了太鼓 (22:37)



参道のロウソクに点火



篝火焚上神事



本殿より御神火が運ばれます (23:40)



祝詞奏上



四方祓い



宮司 玉串奉奠



玉串奉奠 (区長・厄年会・亥年代表)



御神火より採火



着火 (0:1)



越年後の境内



境内の参拝者の列 (0:3)



拝殿前の参拝者



神札・お守り・おみくじ授与所



厄年会の振舞所



土岐一稻荷神社